



校 訓 「自立」「共生」「創造」

教育目標 自ら学び 人とつながり ともに未来を創る

三とせの月目

「西陵中学校便り」

第1号 令和5年4月10日発行

ホームページはこちらから→



新学期に向けて ～diversity & inclusion～

校長 吉岡 智尋

ここ数年、「ダイバーシティ」や「インクルージョン」という言葉を見たり、聞いたりすることが多くなりました。辞書で調べてみると、「ダイバーシティ＝多様性」、「インクルージョン＝包括・受容」という意味だとわかります。つまり、よく使われている「ダイバーシティ&インクルージョン」という表現は、性別、年齢、障がい、国籍などの外面の属性や、ライフスタイル、職歴、価値観などの内面の属性にかかわらず、それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かすこと、とされます。もし、地球上のみんなが、『それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かすこと』ができたならば、この世の中からいじめ、差別、争い、戦争がなくなるのでしょうか。

さて、生徒の皆さんに、身近な話をしたいと思います。新学期を迎え、それぞれ入学、進級をした皆さん、新しい学級はどうですか？

クラスを見渡すと、

「勉強が得意な人」「運動が好きな人」「絵を描くのが上手な人」「おもしろい人」「もりもりご飯を食べる人」「優しい人」「縁の下の力持ち」「字が丁寧な人」「聞き上手な人」「よくお世話をしてくれる人」「料理の得意な人」「気配り名人」……。

実に多くの個性的で性格の違う人が集まっています。だれ一人として同じ人はいません。隣の人はどうでしょう。どんな人ですか？これから始まる新学期、ぜひ「ダイバーシティ&インクルージョン」の精神で過ごしてみましょう。

『それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かす』そんな西陵中学校であってほしいと思います。そして、一人一人が生き生きと学校生活を送ってほしいと思っています。

最後になりますが、新年度を迎えました。保護者、地域の皆様、西陵中学校を今年度もよろしくお願いいたします。

働 き方改革の一環として、小樽市立学校では転送電話の設定をしております。本校では、平日17:00（部活動のある日は18:30）～7:30と休日（終日）は転送電話となっております。何かご用のあるときは、設置以外の時間に連絡をお願いいたします。なお、欠席連絡は「安心メール」でもできますので、始業式に配付したプリントをご覧ください。

令和5年度 入学式



4月6日(木)、新入生49名を迎え、令和5年度の入学式を挙行了しました。今年度の入学式は、在校生も会場に入り、4年ぶりに全校生徒と保護者が一堂に会した中での実施となりました。

学校長の式辞では、中学校生活を始めるに当たり、「志をもつこと」「自分を鍛えること」「挑戦すること」の3つを大切にしてほしいとの話がありました。

新入生代表の布川菜由子さんは、「中学生という自覚と責任を持ち、自分で目標を決め、その目標に向け、自主的に行動して努力していきたいです。」と力強く決意を述べていました。中学校生活では、いろいろな経験を通して、多くの人と出会い、人として大きく成長してもらいたいと思います。

4月 転入職員のお知らせ

4月1日付けで、本校に着任した教職員です。これから、どうぞよろしくお願いたします。

- | | | |
|--------|-------|--------------|
| 【教 頭】 | 瀧口 博貴 | 小樽市教育委員会より |
| 【教 諭】 | 佐藤 冨 | 小樽市立善園中学校より |
| | 中村 郷久 | 小樽市立北陵中学校より |
| | 山本 禎人 | 小樽市立向陽中学校より |
| | 向井 義典 | 小樽市教育委員会より |
| | 澁谷 希李 | 期限付採用 |
| 【事務職員】 | 元谷 誠司 | 余市町立沢町小学校より |
| 【巡回指導】 | 濱田 徹 | 小樽市立松ヶ枝中学校より |

令和5年度 西陵中学校 職員一覧

三年二組 副担任	三年一組 組担任	二年二組 組担任	二年一組 組担任	一年二組 副担任	一年一組 組担任	校長
籠戸友彦	竹村しのぶ	日光貴美恵	高橋宏行	播磨香織	平林美帆	山本禎人
						井上拓也
						中村郷久
						佐藤英司
						松尾博貴
						瀧口智尋

給食配膳員	AT	支援員	事務職員	図書司書	養護教諭	サポ二担任	サポ一担任
藤井愛三奈	ロバート	市川則子	吉田充	渡邊雅代	元谷誠司	山田紀子	向井義典
							澁谷希李
							近藤浩一
							寺田亜紀

対面式

4月7日(金)に対面式が開催され、新入生に対して、生徒会による学校紹介や部活動紹介がありました。

式の最後に、1年生を代表して2組の岩田彩花さんが「部活動を通して、多くの先生方、先輩方の皆さんと関わり、挨拶の大切さや、協力する必要性を学んでいきたいと思っています」とお礼の言葉を述べました。

学校におけるマスク着用の考え方などについて

国からの通知では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行する5月8日(月)までの期間、学校教育活動においては、児童生徒及び教職員に対し、マスクの着用を求めないことが基本となっています。

ただし、基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できない生徒もいることなどから、本校の教職員から生徒に対し、マスクの着脱を強いることはいたしません。

なお、気候上可能な限り、2方向の窓を同時に開けて常時換気を行ったり、近距離で向かい合って発声したりする活動は控えるなどの感染症対策を講じて参ります。

また、以前と同様、給食をとる場面では、適切な換気を確保するとともに、大声での会話は控える、机を向かい合わせにしないなどの対策を行っていきます。

保護者の皆様のご理解とご協力、どうぞよろしくお願いいたします。